

2018 年合格目標

# 国家総合職速修本科生ガイダンス

担当 T A C 国家総合職講座担任 山下

本日の予定

- 1 平成 29 年本試験の分析
- 2 分析を踏まえての平成 30 年本試験合格のための基本戦略
- 3 官庁訪問について
- 4 本講座の特徴

※国家総合職の仕事内容・国家総合職の試験内容については、「T A C 動画チャンネル」⇒「Wセミナー開講講座：公務員(国家総合職・外専)にてご覧ください。

## 1 平成 29 年本試験の分析

### ①1 次試験に合格するための基本戦略

一次合格には何点くらい必要か？

平成 29 年試験(ゴシック体のところが平均点)⇒詳細は HR で分析しています

法律区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	<b>19</b>	20	21	22	23	24	25	26	27	31
専門	32	31	30	30	29	28	27	26	26	25	23	22	22	<b>19</b>

経済区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	<b>19</b>	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	24	23	23	22	21	20	19	19	18	17	<b>16</b>	<b>16</b>	15

政治国際区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点)

基礎	15	16	17	18	<b>19</b>	20	21	22	23	24	25	26	27	31
専門	30	29	28	27	26	26	25	24	23	22	22	21	20	<b>17</b>

院卒者試験 行政区分(基礎能力試験は 30 点満点・専門試験は 40 点満点)

基礎	10	11	12	13	14	15	<b>16</b>	17	18	19	20
専門	<b>21</b>	20	19	18	17	16	15	14	13	12	12



**基礎能力 50%でも専門 50~70%あれば合格できる**

## ②最終合格するための基本戦略

⇒1次で最低点合格した場合の2次の目安は…

人物Cランク・政策論文6(平均点:院卒は政策課題討議C)だとすると



専門記述(60点満点)で

区分	法律	経済	政治国際	院卒
専門記述最低点	26(平均 31.1)	29(平均 30.0)	32(平均 32.1)	39(平均 34.2)



**専門記述で平均点確保を目安に(院卒は頑張りが必要)**

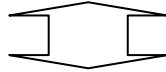
## 2 分析を踏まえての平成 30 年本試験最終合格のための基本戦略

### ①基礎能力試験は最低 50～60%を確保する



No. 1 ～No.27 の一般知能(院卒の場合は No. 1 ～No.24)で 20 点(院卒 15

点)を取れるならば、知識分野は素の力で受験もアリ



そこに足りない分だけ知識分野を勉強する

### ②専門択一は最低 70%を確保する



記述で使う科目を中心に得点源にして、選択科目はそこに足りないも

のだけを勉強する

### ③専門記述は 50%確保を目安に



択一の勉強でベースを作り、年明け(遅くとも来年 2 月)からは記述対策

も十分に行う

### ④政策論文は 60%確保を目安に



年内に講義を受講して論文を書くための基礎的素養を身につけ、年明

け(遅くとも来年 2 月)に答練を受ける

⑤スケジュールリング(ざっくりとスケジュールリングすると…)

	年内～平成 30 年 1 月まで	平成 30 年 2 月以降
択一	数的・専門(必須)の受講⇒問題演習 文章理解の問題演習	それまでに仕上げた科目のメンテナンス(問題演習)+必要な部分の科目(サブ科目)の受講⇒問題演習
記述	政策論文の受講・基礎的能力養成 (院卒区分はナシ)	専門記述講義・答練 政策論文答練

3 官庁訪問について

開始…最終合格発表(平成 29 年は 6 月 30 日)の後、7 月 5 日午前 8 時 30 分から

期間…開始日から 1 週間(同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可)

次の 1 週間(同一省庁に 2 日連続して訪問不可)

※A・B・Cはそれぞれある官庁を指す

月 日	7/5	7/6	7/7	7/10	7/11	7/12	7/13	8/14	7/18	7/19
	第 1 クール			第 2 クール			第 3	第 4	第 5	
A	○	×	×	○	×	○	○	×	○	○
B	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
C	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

※7月19日に「内々定」が出る・・・事実上の内々定はそれ以前に暗示されてはいる

※何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものもある)して、その省庁のカラーにあっていようかを判断される

※この官庁訪問をクリアしないと、就職できない⇒官庁訪問の倍率 2.5 倍程度

#### 4 本講座の特徴

- ①効率的コンパクトコース…基本戦略で示した**重要科目=点を取らなければならない科目を受講できる**コース設定(p. 1・2)
- ②Web フォロー等標準装備…学習の進捗に応じて、**自分なりの合格スケジュールを組める**(p. 1・2)
- ③2次記述対策もバッチリ…**答案添削は無制限**(p. 1・2)
- ④2次人物試験対策・官庁訪問対策…**最終合格・内々定までしっかりフォロー**(p. 4)
- ⑤追加申込講座が半額…基本戦略で示した「**足りない部分**」だけをオプション追加可能(p. 6)

※担任講師によるHRや個別カウンセリング…情報提供や学習スケジュールの相談など個別にフォローします(p. 6)